

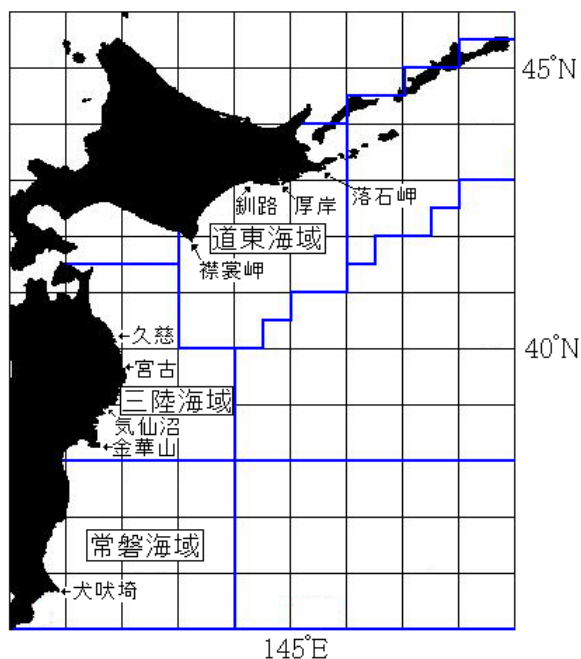
## 平成27年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2015年9月中旬～10月下旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、来遊量は増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。
- ・三陸海域では、10月中旬になると、来遊がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

国立研究開発法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成27年度 第1回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2015年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量はゆるやかに増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬は中位水準となる。10月中旬から減少を始め、10月中旬～下旬は低位水準となる。

#### (2) 漁場

9月中旬は、道東海域より北東側の色丹島南沖が主漁場である。道東海域では、9月中旬は落石南東沖に、9月下旬は落石南東沖～厚岸南沖に漁場が形成される。10月上旬は、落石南東沖～釧路南沖で漁場が持続し、襟裳岬沖にも断続的に漁場が形成する。10月中～下旬は、落石南沖～襟裳岬沖で漁場が持続する。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月中旬になると、低位水準ではあるが来遊がある。10月下旬は、来遊量は増加するものの、低位水準である。

#### (2) 漁場

10月中旬は、三陸北部が漁場となる。10月下旬は、三陸南部まで漁場が広がる。

## 2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位増加	中位増加	低位減少	低位減少
	漁 場	落石沖	落石～厚岸沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖
三陸海域	来遊量					
	動向				低位増加	低位増加
	漁 場				北部	北部～南部

### 3. 漁況の経過概要（8月下旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年同様、低位水準であった。道東海域よりも北東側の花咲港東北東沖における来遊量の水準は、前年並であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域よりも北東側における来遊量は、期後半に増加した。

##### (2) 漁場

道東海域よりも北東側の花咲港東北東沖が主漁場であった。道東海域では、千葉県水産総合研究センター千葉丸が探索したが、操業に至らなかった。なお道東海域よりも北東側の、花咲港東北東沖（9～12℃）で、多くの船が操業。期前半は、花咲港まで2日以上かかる場所が主漁場であったが、期後半は花咲港まで半日～1日程度かかる場所が主漁場となった。

##### (3) 魚体

道東海域よりも北東側の、花咲港東北東沖では、体長29～30cmモードの大型魚主体であった。中型以下の魚が1割程度の群れもあれば、3割程度混じる場合もあった。大型魚の体重は140～150g台が主体で、昨年同期と比べて20g程度体重が少なかった。

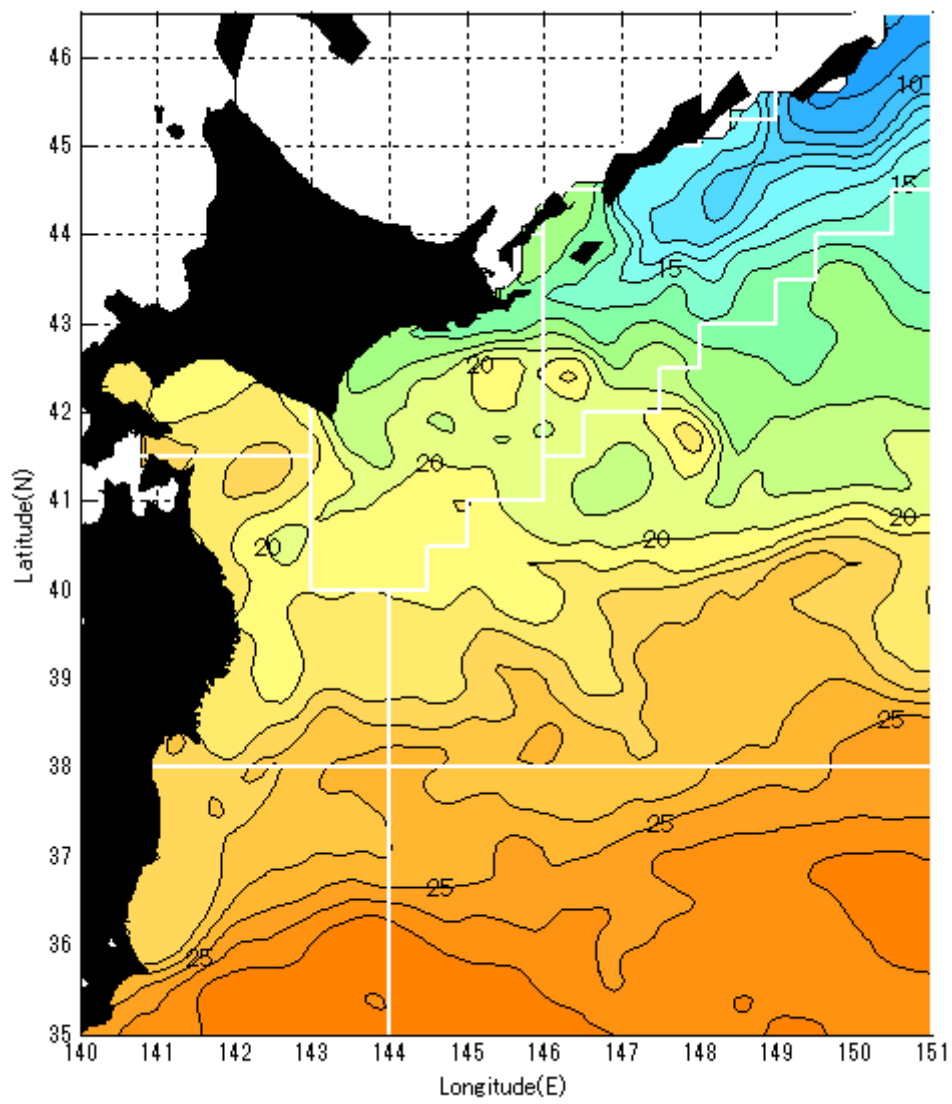
※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。

#### ※サンマ中短期予報の作成方法について

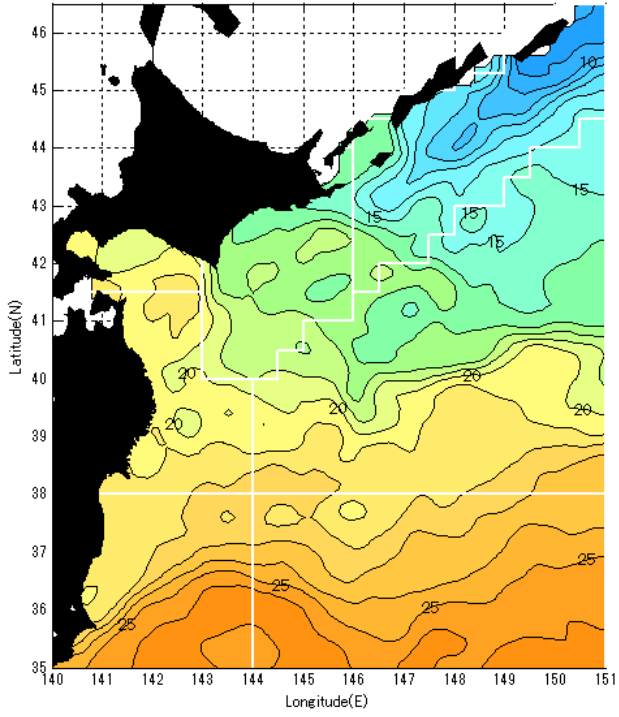
サンマ中短期予報は、「予測を行う直前のサンマの来遊状況（今回の場合、8月下旬の海区別資源量指数）」と「予測海域の予測対象旬における表面水温の占有率（予測水温分布図から計算）」をパラメータとして使用した予測モデルの結果を利用している（モデルは数量化Ⅰ類を使用）。予測水温分布図は、漁業情報サービスセンターが作成した海況図を用い、統計モデルを使用して予測した結果である。

#### 4. 予測水温分布図

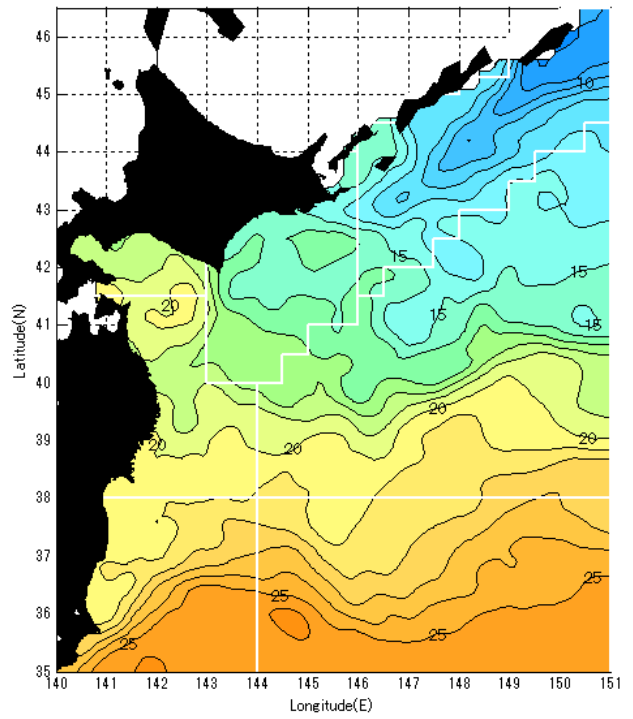
9月中旬予測表面水温分布図



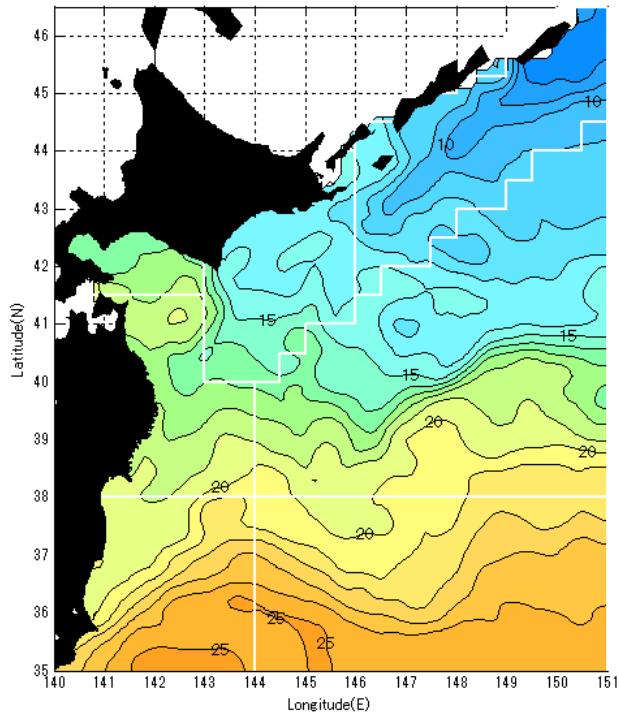
9月下旬予測表面水温分布図



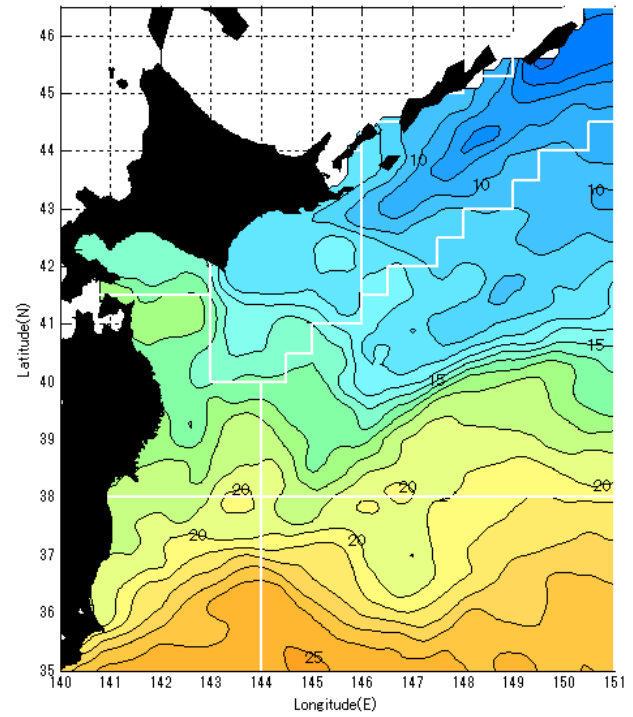
10月上旬予測表面水温分布図



10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--